

# ゆうちょ銀行の業務拡大についての 当業界の考え方

---

社団法人 第二地方銀行協会

平成18年9月21日

# 1. 郵貯銀行の実態(当業界対比) (注:平成18年3月末計数で比較)

---

## (1) 当業界(会員行47行)の4倍近い資金力を持つ金融機関

- ・ ゆうちょ銀行の資金量:約200兆円  $\div$  (当業界の資金量約54兆円)  $\times$  4

【図表3】都道府県別預貯金残高(5頁)参照

## (2) 当業界(会員行47行)の7倍の店舗網を基盤とする金融機関

- ・ 郵便局の店舗数:約24,000店  $\div$  (当業界の店舗数:約3,300店)  $\times$  7

【図表2】都道府県別店舗数(4頁)参照

## (3) 「暗黙の政府保証」がある金融機関

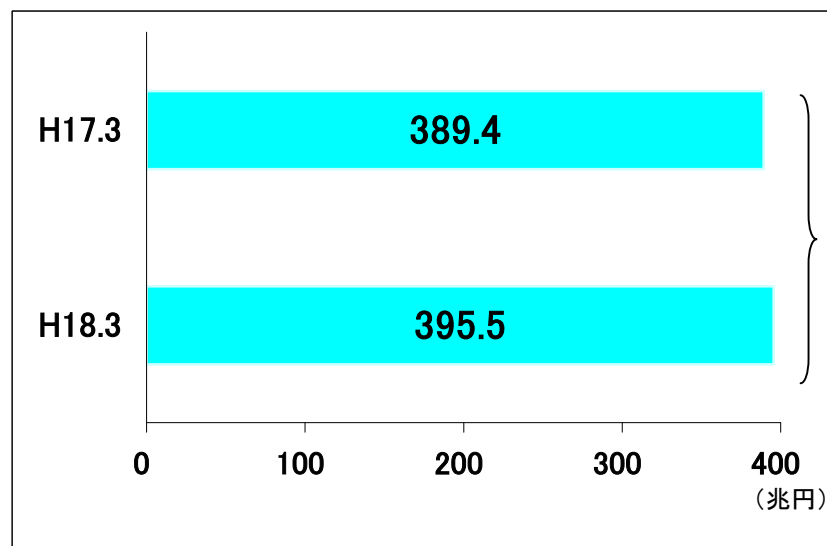
- ・ 政府の関与が残る移行期間中、政府によって、「信用」が裏付けられている。

## 2. ゆうちょ銀行の業務拡大についての当業界の考え方

---

- (1) 新規商品・サービスについては、市場・民間金融機関への影響を検証し、慎重に議論すべきである。
- (2) とりわけ、ローン業務については、地域金融・経済に甚大な影響があるため、認められない。
- (3) 民間金融機関と同等の内部管理態勢の整備が必要である。

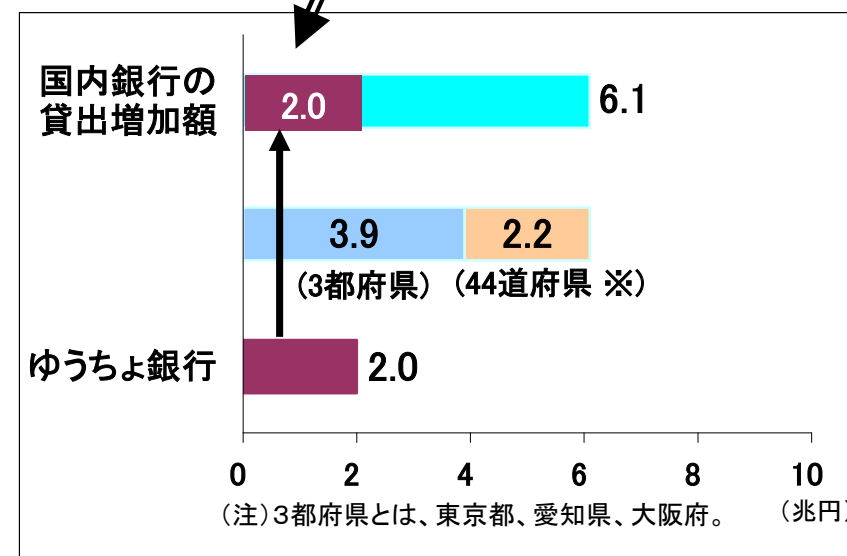
# 図表1. 国内銀行の貸出増加額(平成17年度中)



貸出増加額  
6.1兆円

貸出増加額の  
3分の1に相当

ゆうちょ銀行の資金量  
約 200兆円 × 1% = 2兆円  
(仮定)

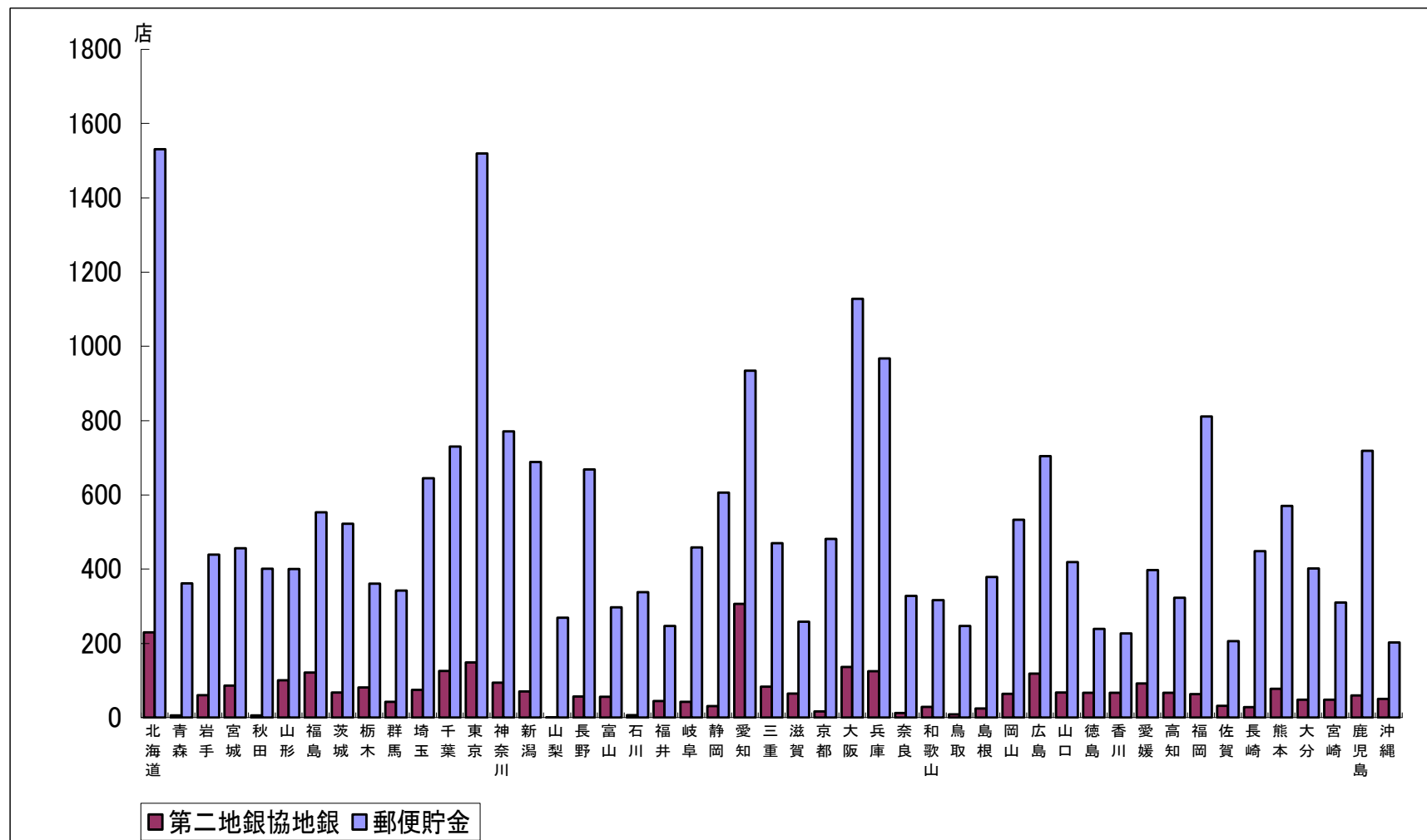


※ 44道府県のうち、13県では前年度比減少

(注) 国内銀行の計数は、日銀「都道府県別預金・現金・貸出金」より作成。

## 図表2. 第二地銀と郵貯の店舗数(平成18年3月末)

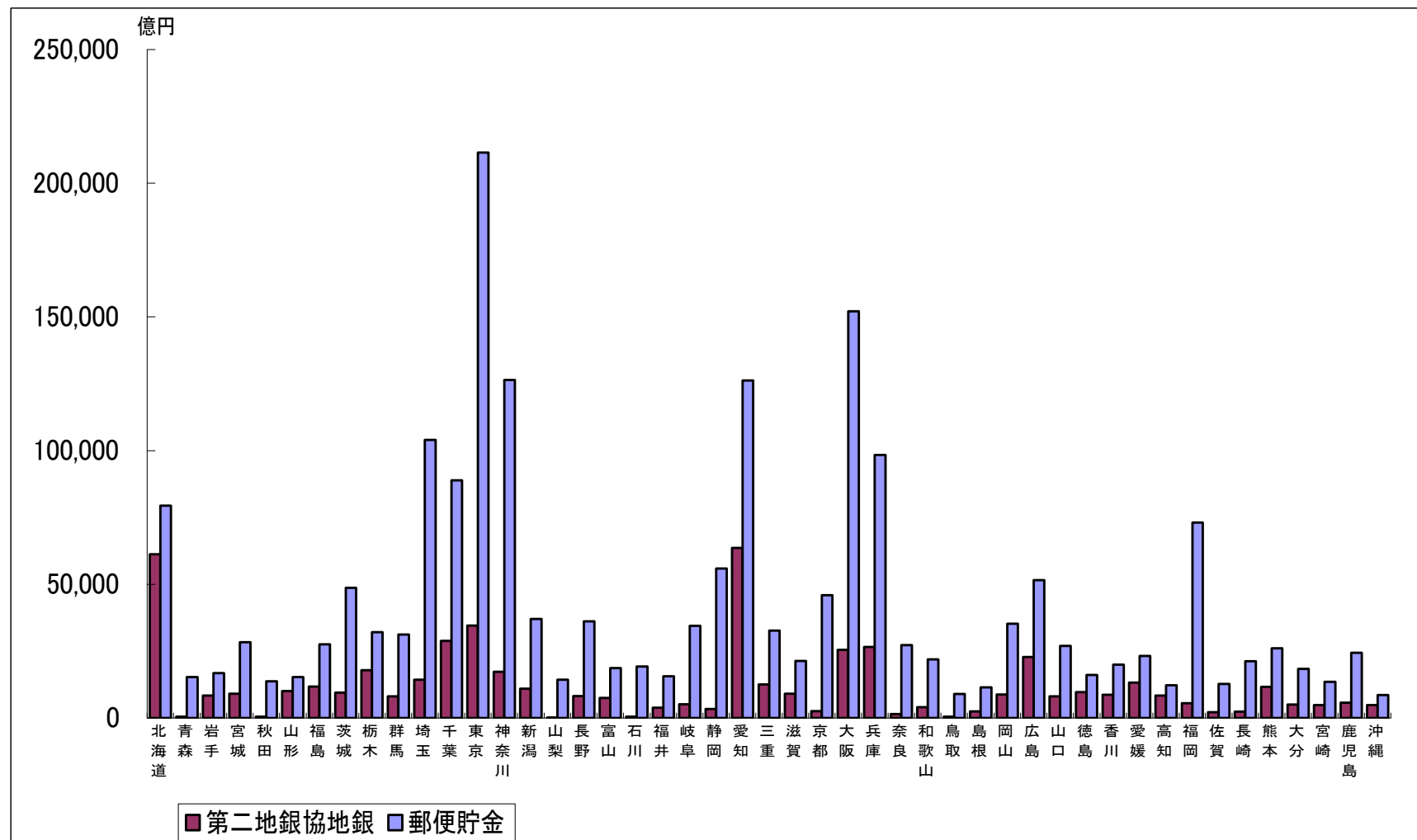
- 当業界会員行の店舗数の10倍以上の店舗がある都道府県が9都県。  
最大19.5倍(静岡県)。最小3.1倍(愛知県)。



(注) 本表の計数は、第二地銀協地銀および日本郵政公社のディスクロージャー誌より作成。

## 図表3. 第二地銀と郵貯の預貯金残高(平成18年3月末)

- 当業界会員行の本店が所在する40都道府県において、貯金残高が上回る。  
最大16.8倍(静岡県)。最小1.3倍(北海道)。



(注) 第二地銀協地銀の計数は、日銀「都道府県別預金・現金・貸出金」より作成。  
日本郵政公社の計数はディスクロージャー誌より作成。